領域４インフォーマルミーティング議事録

日時：2025 年 9 月 16 日(月) 17:15 ― 18:15
場所：日本物理学会第 80 回年次大会 広島大学 東広島キャンパス SK302 会場（書記：小林）

出席者（敬称略）
領域代表：柏谷聡
領域副代表：佐藤昌利
運営委員：秋葉和人、蒲江、小林伸吾、磯部大樹、奥川亮
次期運営委員：立石幾真、松岡秀樹、藤井拓斗
他

１．報告事項
１－１．プログラム小委員会・領域委員会報告
・ 物性領域 第 80 回年次大会（2025 年）招待・企画・チュートリアル講演、 受賞記念講演、シンポジウム講演の検討・決定について。非会員の招待講演者についてはこれを機に物理学会へ入会してもらいたい旨が伝えられた。
・ 若手奨励賞や学生優秀発表賞の募集に際して、外国人会員に各賞のアナウンスが行き届いていない現状について報告があり、可能な範囲で**領域 Web ページの日英併記化**を進めて欲しい旨が伝えられた。
・ オンライン形式でのポスターセッションについて、「**ショートプレゼン（＋ブレイクアウト)**」の形式に変更する方針となった。各講演者が Zoom で 1 分程度のショートプレゼンを実施後、各講演者がブレイクアウトルームにて質疑応答・議論を続ける形式を予定。2026 年春季大会から実施予定。
・ 現地ポスターセッションの開催について、第 80 回年次大会より、**講演時間を①午前 10:00～12:00 と②午後 14:00～16:00 の２部制**にすることが提案された。
・ シンポジウム、招待講演について、領域横断・物理と社会において１件保留。シンポジウムの一部の講演について政治的中立性が保証されないことや、物理コミュニティ全体との関わりが薄いことが指摘されたため。

１－２．領域４：若手奨励賞について
・ 領域４の受賞者上限は２名。占有率は 4.60。上限算定方法は 4.60×0.31+1=2.426→2。あと 30 件程度増やせば上限 3 だった。
・ 当初 2025 年 7 月 19 日が締め切りだったが 2025 年 8 月 6 日に延期した。
・ 若手奨励賞への応募者数は 9 名（ほぼ例年通り）。
・ 受賞者一覧は 2025 年 10 月から 11 月中に物理学会 HP にて掲載。
・ 概要集の提出率 93.2%（領域４）。他の物性領域と比べてやや低い。

１－３．領域４：学生優秀発表賞について

・ 今大会では講演申込時には応募希望者数が 50 人程度であったが、その後実際に応募手続きを行った方は 30 人であった。

１－４．AAPPS-JPS Award について

・ 川畑先生の受賞講演を 2026 年春季大会にて行う予定。
・ 2025 年は領域 ML で募集し、1 名の応募があったため、領域代表と副代表で審査し、選抜された 1 名を推薦した。

１－５．かどで賞について

・ ロックゲート株式会社（限・ブルーフォース株式会社）創業者である門恒男氏より、個人資産を活用し「若手のための賞を創設したい」との申し出があり、この想いを受け、新たな賞を創設。
・ 国内で行われた物性物理および関連分野の研究に関して、学位取得前または学位取得後 6 年以内に公表された第一著者論文の評価を基本とする。
・ 提出期限は 2025 年 12 月 12 日必着。

２．審議事項

２－１．国際シンポジウム

・ 80 周年記念国際シンポジウム開催（2026 年 9 月）のお知らせ。本シンポジウムは 2026 年 9 月 13 日（日）、東京大学駒場キャンパスにて開催。国際的に活躍する研究者 10 名ほどの招待講演を中心に構成する予定。
・ 第 81 回年次大会でも本シンポジウムに関連したサテライトシンポジウム（国際シンポジウム 4 本程度）を企画。実行委員会でテーマを設定し、関連する研究者に企画していただく予定。

２－２．領域のあり方

以下は参加者から出た意見。

・ 領域の名前の付け方の再検討が必要ではないか。領域 4 はメゾスコピック、半導体、量子ドットとあるが現状をきちんと反映しているとは言えない。

２－３．春季大会（2026.3.23-26）の予定、キーワード

・ 概要原稿の提出の締切は 2026 年 2 月 13 日（金）14 時まで。以前よりも締切が遅くなった。
・ 昨年の変更点：キーワードを「量子ドット・半導体量子情報」と「2 次元・層状物質」にまとめた。

以下は参加者から出た意見。

・ 非エルミートのセッションを領域８との合同セッションをできるようにするかどうか。実際、講演申込の際に問い合わせが来ていた。今回は規則にないため不可とした。
・ 2 次元物質に「モアレ」を追加した方が良いのではないか・例えばキーワード７を「2 次元・層状・

モアレ物質」とするのはどうか？

２－４．春季大会の招待・企画・チュートリアル・シンポジウム講演

・ 一般会員の皆さんからの提案を歓迎。
・ 運営委員の皆さんからの提案を特に期待。
・ シンポジウムや企画・チュートリアル講演も若手奨励賞の受賞者上限の計算に含まれる（年次大会のみ)。
・ 申請に当たって、規則を良く読むこと（重複登壇・所属重複規制など)。
・ 申請書について、内容の説明等が他の領域の人にもわかりやすい文章にする。単純に文章の分量ではなく、参考文献や引用など含め各講演の種別に適した提案であることがわかるように記載する。

２－５．次期領域代表、副代表

次期領域代表（2026.4－2027.3）　佐藤昌利（京都大）
次期領域副代表（2026.4－2027.3）　笹川崇男（東京科学大）

２－６．新運営委員の紹介、次期運営委員の決定

現役（2024.10－2025.9）		次期（2025.10－2026.9）
小林伸吾（理研）［半導体］	→	立石幾真（阪大理）［半導体］
蒲江（東京科学大）［グラフェン］	→	松岡秀樹（東大産総研）［グラフェン］
秋葉和人（岩手大）［トポロジカル］	→	藤井拓斗（兵庫県立大）［トポロジカル］

現役（2025.4－2026.3）		次期（2026.4－2027.3）
磯部大樹（九大）［量子ホール］	→	工藤耕司（九大）［量子ホール］
奥川亮（理科大）［トポロジカル］	→	川畑幸平（東大物性研）［トポロジカル］
佐藤洋介（東大物性研）［量子ドット］	→	若村太郎（ＮＴＴ）［量子ドット］

２－７．運営委員の担当

・ 運営委員の連絡責任者：秋葉和人（岩手大）　→　磯部大樹（九大）
・ メーリングリスト・Dropbox：蒲江（東京科学大）　→　佐藤洋介（東大物性研）
・ IM・領域 HP：小林伸吾（理研）　→　奥川亮（理科大）

２－８．その他

領域４の運営に関するご意見は
r_daihyou_2025@googlegroups.com
宛てにお送りください。